

令和 7 年度第 1 回 旭川市食育推進会議 会議録（要旨）

日時：令和 7 年 7 月 30 日（水）

午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分

場所：旭川市総合庁舎 7 階 大会議室 B

1 開会

- ・開会宣言
- ・議題等の説明
- ・配付資料等の確認

2 議事(1)報告事項 ア 令和 7 年度旭川市食品衛生監視指導計画について（衛生検査課）

（資料 1 令和 7 年度旭川市食品衛生監視指導計画）

（事務局）

- ・衛生検査課では、食育推進計画における「基本的な方向性 3 安全安心な食の推進」の中の「基本政策 6 安全な食材、食品の提供」の一部と「基本政策 7 安全に関する知識や情報の提供」を担当している。
- ・令和 7 年度旭川市食品衛生監視指導計画に沿って事業概要を説明。
- ・令和 6 年度旭川市食品衛生監視指導計画の結果は、ホームページ上で公表している。

【御意見・御質問及び回答】

（A 委員）

- ・旭川市食品衛生監視指導計画は何のホームページで公表されているのか。

（事務局）

- ・旭川市の衛生検査課のページで公表している。

（B 委員）

- ・資料 1 の 12 ページ、別表 3 の見方を教えて欲しい。

（事務局）

- ・いわゆる収去検査と言われるもので、市内に流通している食品について、無償で抜き打ち検査をしている。その検体数として、例えば乳・乳製品は年間に 10 検体を検査する計画であることを示している。

（C 委員）

- ・資料 1 の 2 ページに、「農林水産物の安全性確保のため、残留農薬、残留動物用医薬品等の基準違反を発見したとき」と、記載があるが、これは流通のどの段階で調べられるのか。

（事務局）

- ・収去検査の対象としている農林水産物には野菜やお米などがあるので、キョクイチや

J Aで取らせていただく、あるいはスーパーに陳列されている野菜を取らせていただくなど種類によって様々であり、いわゆる流通しているものも取っている形である。

2 議事（１）報告事項 イ 令和６年度生産者と地域をつなぐ取組の活動報告（農業振興課）
(資料２ 令和６年度生産者と地域をつなぐ取組の活動報告)

(事務局)

- ・資料４に農政部の様々な活動が載っているが、今日はその中から、生産者との関わりなど食育に関連する部分を紹介する。
- ・あさひかわ食の応援隊とあさひやま夜の動物園レストランについて、資料２と資料２に掲載している動画を用いて報告。

(A委員)

- ・素晴らしい取組みである。

(会長)

- ・あさひかわ食の応援隊にはどれくらいの応募があったのか。

(事務局)

- ・12名募集して6名しか来なかった。しかし、今にして思えば、これくらいでちょうど良い人数であった。志望動機を書いてもらうなどしたため、本当にやりたい子が集まっており、非常にモチベーションが高い。今年が活動３年目で最終年。今年は北海製麺と組んで旭川産の米粉と北海道産の小麦で作った麺を作っている。麺は完成し、今はトマトソースを考えており、商品化を目指している。

(B委員)

- ・あさひかわ食の応援隊は来年も募集するのか。

(事務局)

- ・まだ下国シェフとも検討中であるが、また同じようなことをすると言うよりは、もっと生産者寄りの内容で、生産者の声を聞きながら、それをうまく表現していくことができないかと考えている。

2 議事（２）議題ア 令和６年度食育関係事業実績及び令和７年度事業計画について

(資料３：令和７年度食育関係事業一覧【委員回答分】)

(資料４：令和６・７年度 市の主な食育関係事業一覧)

(事務局)

- ・令和６年度の市の主な食育関係事業実績及び令和７年度の市の主な食育事業計画について報告。

(各委員から所属団体等における取組みを資料3に添って報告)

(A委員)

- ・(資料3 No. 13) あさしお適塩ライフについて、旭川市の健康推進課、食生活改善協議会、亀田製菓の協力によりイベントを行っている。内容は適塩や減塩をテーマとして、試食や献立紹介、市の栄養士から食生活についてのアドバイスなど。2月のプレ実施も含めて3回実施したが、大体、毎回70名以上の参加がある。次回は8月22日に予定しているので、ぜひお越しいただき、皆様からアドバイスいただきたい。
- ・(資料3 No. 15) 食べるたいせつフェスティバルを今年度も9月20日に開催する。子どもだけでなく大人の方も食や暮らし、環境について考えていただけるイベント。
- ・(資料3 No. 16) コープさっぽろと関連会社では、宅配で間違った注文により返品されたものや、お店の商品で箱が崩れたようなものは、児童養護施設に年間7,000万円ほど寄附させていただいている。加えて、トドックフードキャラバンなどで料理を作る取組みも行っている。

(D委員)

- ・(資料3 No. 17) 昨年度から継続して行っている、朝ごはんを食べようという動画は月3本ペースで作成している。開始から1年過ぎてちょっと手詰まり感があるが、学生自体は2年ずつ変わっていくので新しい目線を入れながら継続して取り組んで行けたらと思う。学生自身が朝ごはんについて考える良い機会にもなっている。
- ・(資料3 No. 18) こども食堂については休み期間があったが、学生からまた始めたいということで、近隣の小学生などへ声掛けをして再開した。こちらも継続して取り組んでいきたい。

(E委員)

- ・(資料3 No. 21) つい先日、ヤクルトさんとコラボして、腸内環境に関する講話と、それに伴う親子クッキングを行った。12組集まり、コロナ明けで久々の調理実習だったが、子どもたちからも楽しかったという声が聞かれ、やはりこのような機会も必要なのかなと思った。
- ・(資料3 No. 22～23) これからの事業であるが、あさひかわ健康まつりでは栄養相談の実施、旭川ハーフマラソンではランナーを中心とした方を対象に栄養サポートや食の悩みに答えるような活動をしていく予定。

(C委員)

- ・(資料3 No. 24) 保育園では毎年、野菜作りを行っており、子どもたちが苗を植えたり、水やりや雑草を取ったりして、野菜の育ち方を見てもらいたいと思っている。子どもたちは苦手な野菜もあるが、自分で育てた野菜は口にすることも多くなってきて、やはり食べられた喜びがあるのかなと。そのような機会にもなっているので、大事な取組みとなっている。
- ・(資料3 No. 25) 給食試食会は大体どの保育園でも行っていると思うが、当園では夜に

行い、園で大事にしていることを保護者へ伝える場にさせてもらっている。食材は国産にこだわっているが、保護者アンケートでは知らなかったという方もいるので、試食会の機会に伝えていくことで理解していただいていると思う。出汁を一番大事にしているので、出汁を利かせた味付けを知ってもらう機会にもなっていると思う。

- ・(資料 3 No. 26) 鮭のちゃんちゃん焼きは鮭一匹を子ども達の目の前で捌く。年長と年中で野菜をちぎり、クッキングも兼ねている。子ども自身で手がけたものはよく食べる。イクラが入っているときは、これが成長して魚になって…と説明し、あまり見る機会がないものなので、この取組みも大事にしている。

(F 委員)

- ・(資料 3 No. 27) 毎年、夏休みと冬休みの前に当たる 7 月と 11 月に、「早寝早起き朝ごはん」と「バランスよく食べよう」をテーマに、各学級で食育の指導をしている。
- ・(資料 3 No. 28) 給食試食会では給食をどのように作っているのかと、今年から物価高で値上がりした給食費について、保護者に理解を得られたらいいなと思って話している。他に、出来るだけ国産の食材を使用し、地産地消を心がけていることや、減塩を心がけていること、衛生管理上の話などを伝えている。
- ・(資料 3 No. 29) 学校の健康委員会で、その日の給食の食材を一つピックアップして、給食の時間に食材の栄養や由来などを毎日放送している。

(G 委員)

- ・(資料 3 No. 30) 例年、健康まつりでは、カルシウムをとってもらいたいということで、牛乳配付を行っている。牛乳も値上がっているため、配付数はまだ確定できていない。
- ・(資料 3 No. 31) あさしお適塩ライフでは減塩を市民の方に広めている。かつお節の出汁を利かせたお味噌汁を作り、普段飲んでいるお味噌汁との違いを舌で感じていただいている。今年度はあと 4 回、引き続き協力させていただく。
- ・(資料 3 No. 32) 食生活改善地域講習会は年 30 回開催し、市内一円で地域の方に減塩や食事バランスのことを知っていただいている。私たち推進員も高齢化している。委員の方々のお近くで、推進員になるための市の養成講座に興味を持たれている方がいれば受講の声かけをお願いしたい。
- ・(資料 3 No. 33) 乳製品料理教室はホクレンの支援をいただいて毎年行っている。11 月末に開催する予定なので、北海道産の乳製品を使った、クリスマス向けのちょっと豪華なメニューを考えている。
- ・(資料 3 No. 34) 食べるたいせつフェスティバルは例年通り参加し、マスコットを使ったお弁当作り、釣り堀コーナー、野菜の目ばかりを実施予定。
- ・(資料 3 No. 35) 男性一人暮らし料理教室は、メニューなどを考えて進めているところ。神居東地区にお住まいの方などがいらっしゃいましたら、お声がけいただきたい。
- ・(資料 3 No. 36) 今年の 4 月から学校の名称が東川国際文化福祉専門学校に変わった。昨年は事情でお粥作りが出来なかったが、今年度は 1 月に実施を予定している。

(H委員)

- ・(資料3 No. 37) 来年、旭川消費者協会は活動60周年を迎える。色々な活動をしているが、食の安全活動部の方では乳製品料理教室を行う。No33で報告のあったものと同様、ホクレンの支援を受けている。

【御意見・御質問及び回答】

(会長)

- ・資料にはないが、前回の食育推進会議でこれから減塩給食を実施すると報告があった。実施して、子どもたちの反応はどうだったか。

(F委員)

- ・学校給食は日頃から減塩を心がけており、減塩給食の日に出したメニューもいつも提供しているメニューだった。子どもたちに減塩が大事だということを学んでもらうために、あえて減塩給食と銘打って掲示物なども作ったが、子ども達からは、「今日は薄いね」みたいな反応は全くなく普通に食べていた。

(会長)

- ・資料No. 36にある、専門学校で行う「お粥を作ろう」が、食育としては珍しく、ユニークな着目点であると感じた。

(G委員)

- ・私は専門学校で医療事務の授業を教えている。普通の食事のときにはビタミンCなどを投与されても点数を算定できないが、お粥のときには算定ができることになっている。そこから発展して、では、実際に5分粥と7分粥の違いが分かるのかを学んだり、学生は女性が多いので離乳食用のお粥は手作りできることを体験してもらったりするために、授業に取り入れている。

(B委員)

- ・今、給食費はいくらに値上がりしたのか。

(F委員)

- ・4月から小学生は345円に上がり、金額だけ聞いたらワーンと思うかもしれないが、献立を立てている者としては足りないぐらい。お楽しみのデザートはあまり付けられないし、味付け海苔とかふりかけがあつたらもっとご飯食べられるような献立があつたとしても、中々付けてあげられない。
- ・市の基本献立も以前なら主食、主菜、副菜、牛乳の他にもう一つ何か付いていたが、今は各学校で苦肉の策として何かしら付けるというのが現状。

(B委員)

- ・お米は国産のものを使っているのか。

(事務局)

- ・米は旭川産のななつぼしを使用し、1箇所からまとめて仕入れている。

(B委員)

- ・孫がフランスに住んでいるが、フランスでは3歳までにカルシウムをたくさんとるように言われるようだ。日本ではどうなのか。

(C委員)

- ・牛乳は栄養があるので保育園のおやつの時間などに必ず牛乳は付く。献立にチーズを使用するなど、カルシウムがとれるように工夫している。

(A委員)

- ・給食費はちょっとずつ上がっているが、市の補助的なものは何かあるのか。

(F委員)

- ・子ども達の分は市から助成が出ているが、教職員は全額払う形。

(H委員)

- ・給食のお米について、1箇所からまとめて仕入れているとのことであるが、これだけ価格が上がっているのに、来年度急激に価格が上がったりしないのか。

(事務局)

- ・米の価格は直近数年の平均価格で入ってくるので、徐々に上がることはあっても、急激には上がらない。令和7年度の価格は令和6年度に決まる。今年の秋に値段が急激に上がったとしても、今年はずっと同じ値段で入ってくることになっている。

(会長)

- ・資料4No. 8の事業実績で、測定機器を活用して野菜摂取量を把握しているような報告があるが、どういうものを使っているのか。

(事務局)

- ・カゴメのベジチェックという機器を活用している。機器に指をかざすことで皮膚カロテノイド量を測定し、野菜摂取量を推定できるものである。

(C委員)

- ・市で作成した食育推進月間のリーフレットについて、次回はいつ発行されるのか。

(事務局)

- ・旭川市では8月と9月を食育推進月間と定めており、毎年その時期に間に合うように、テーマを変えながらリーフレットを作成している。発行は年1回である。

(C委員)

- ・保育園に届いたリーフレットを園の給食チームが見て、次回はどのようなものが発行されるのかすごく楽しみにしていた。早速、8月の園だよりに内容を掲載する。定期的に発行されるといいなという希望である。

3 その他

- ・事務局から連絡事項伝達

4 閉会